

「京都府中期的な医療費の推移に関する見通し」

策定等懇話会（第4期第3回）開催結果

- 1 日 時 令和5年11月10日（金） 18時～20時
- 2 場 所 京都ガーデンパレス 葵の間
- 3 出席者 田中委員代理、渡辺委員、林委員代理、鈴木委員、河野委員、
田中委員、安井委員、土淵委員、今中委員
- 4 内 容 ※「⇒」は事務局発言

【主な発言】

他計画との関係

- ・保健医療計画等関係する他計画と見通しの関係を表すイメージ図を入れれば、見通しの位置づけがわかりやすくなるのではないかと。

生活習慣病

- ・京都府の特徴として健診は受けるが、その後の特定保健指導や医療機関受診を受ける者が少ないという傾向がある。健診結果を踏まえた受診強化の取組み等が必要。
- ・骨折や心臓病など食事と密接に関係する病気は多いと感じている。食生活や栄養を充実させることについて啓発していくことが必要。
- ・メタボリックシンドロームの状況について「下回っている」と記載されており、京都府が他府県より良い状況にあることがわかりにくいので、良い状況にあると明確にわかるよう記載してはどうか。
- ・喫煙の現況部分については単に喫煙率が減少しているという記述のみで終わっており、方向性がわかりにくいのでわかりやすく追記してはどうか。

生活習慣病（歯科）

- ・歯科健診の現況として「過去1年間に歯科健診を受けた者の割合」が記載されているが、歯周疾患健診の受診率が低いことが課題となっている。全国データもあるので現況への記載を検討されてはどうか。
- ・歯科健診の現況として「20歳以上の歯科医院受診者」を対象とした健診受診率のデータが記載されているが、実際の健診受診率はかなり低く、本データは誤解を招くのではないかと。

目標及び施策等

- ・喫煙率など各目標の目標設定の理由を記載した方がよいのではないかと。また、例えば通いの場の参加率など目標値の意味が分かりにくいものは説明を追記してはどうか。

保険者

- ・保険者による保健事業の取組は重要であり、具体的な記述を追記してはどうか。また、後期高齢者医療広域連合は一体的実施にも力を入れており、そういった役割を記載してはどうか。

医療費見直し

- ・医療費見直しや一人当たり保険料の記述部分について、京都府の数値と明確にわかるよう記載してはどうか。
- ・医療費見直しの記載について、「自然増」だと増加分のみの数値とも受け取れるので、表現を修正してはどうか。
- ・本見直しの「医療費の見直し」が取組効果を含めた医療費を示す趣旨であれば、目標や施策と一致していない医療費を示すことは誤解を生むのではないかと。
- ・「策定に当たっての考え方」で「取組の結果としての医療費の見直しを示す」とあるが、目標達成による効果額と読めるので表現を工夫されてはどうか。
- ・一人当たり保険料については現状値も記載した方がわかりやすいのではないかと。
- ・制度ごとに被保険者数の増減があるので、総医療費だけでなく一人当たり医療費の記載を検討してはどうか。

用語解説

- ・用語解説の「インスリン非依存糖尿病」という表記は正確ではないと考えられるので、「2型糖尿病」等適切な表記への修正を検討されてはどうか。